

# いまの歴史

新聞をななめ読み、  
週刊誌を読み飛ばし、  
倍速モードでニュースを見れば、  
よくわかる、すぐわかる、最近の歴史。

## 【現象】

### 音楽市場からトラ箱まで 影響無限のカラオケ業界

パブルと共に登場した派手モノは、経済の低迷とともにその多くが姿を消したが、現在もおお、唯一その勢いを残しているのはカラオケルームだろう。もともと田舎の空いた土地を利用して誕生したマイナーブレイゾンのカラオケルームは、数年前から都会にも増殖。昨年こそ繁殖率は頭打ちとなったようだが、カラオケ自体が巷にもたらず影響力は少しも衰えないのだ。

例えば、昨年CDの売上ベスト10にランクインした曲は全てミリオンセラーとなったが、これらはカラオケでもリクエストベスト10を占めた。つまり、カラオケでのリクエスト率がCDの売上を左右しているのだ。さらに警視庁の昨年暮れの発表によると、泥酔者の保護件数は減少傾向にあり、その一因がカラオケの普及というから驚き。

だがこれはカラオケルームが登場した昭和51年を境に泥酔者の保護数が減少したというだけのこと。その正確な因果関係は証明されていない。本当の理由は凶悪犯罪が増えたため、泥酔者を保護している桶（留置所）を空にしておきたいからだっただけだ……。

7人の外国人が代わるがわる盗む盗む盗む盗む盗む盗む盗む……



## 【防犯】

### 悪い行為は心から消す 万引き犯に必殺の武器

万引きで捕まった人の言い訳で一番多い「つい、出来心で……」という一言。この「出来心」とは、辞書によると「その場でフラフラと起こった悪い心」のことだが、こういうものをフラフラとは起こさせないためのグッズがアメリカで発売された。

そのグッズとは万引きの衝動を抑えさせるために店舗で流すBGM用のCD。曲の中に悪い心を起こさせないもの。実際に聞いてみると、ただ音楽しか聞こえてこない。だが、その曲の中には日本語、英語、中国語をはじめとした7カ国語の「盗むな」という言葉が高周波音で録音されていて、その音声が万引き防止の絶対的役目を果たすというのだ。

気になるのはその効果だが、アメリカでの調査によると、このCDを使用した店舗での万引き被害は40%も減少したらしい。これが事実ならきつと日本の店舗ですぐに実用化されるだろうが、意外と「盗」を阻止を狙ってフ口野球のGがドームのBGMに用いるほうが早いかも。ね、ナベツネさん。

## 【歴史】

### 科学発展の素が、ただの死体損壊か アインシュタインの眼を保管した男

「人間が考えることは、どんなことでもいざ実現する」そんな言葉を残したSF作家がいるが、確かに半世紀前のSF小説のテーマで、現在当たり前のように実現されているものは多い。

死んだ人間の角膜に焼き付いた映像を知ることができるという、昔読んだSF小説の話も、近い将来実現の可能性があると思う。

昨年イギリスの有名誌がアメリカの銀行にアインシュタインの両眼が保管されていることを発表した。なんと40年前、火葬前のアインシュタインの遺体解剖で抜き取った眼を、彼の眼科医であった医師が保管していたらしい。「この両眼の角膜があれれば、アインシュタインの見た世界を近い将来蘇らせることができるとできるはずだ。だから、僕が保存しなけるはずだ。」と考えたかは知らないが、あのマイケル・ジャクソンがアインシュタインの両眼の購入を希望しているという。

歴史を振り返ると、奇行といわれた行動が将来の科学を進展させたなんてことも多いが、彼の場合は科学発展のための勇断か、単なる奇行か。

# タンゴ コンサート アストロリコ 七重奏 とダンス

〈'95 国際フェスティバル出演記念〉

～ 日本を代表して京都から世界へ～

司会：武部 宏

3月9日(木)

7:00P.M. 開演

前売券 4,000円

学生割引 2,000円

京都府立文化芸術会館

☎075-222-1046

お問合せ・お申し込み

ソルーナ

☎075-211-9205



そらやっぱり「抱けない」ってのが、一番つまらないことなんでしょうねえ。

## 【ハイテク】

飼えりやいいってモンじゃない  
ネコ好きには不評の電子ネコ

現代はペット好きにとつて肩身の狭い時代といわれている。発情期の泣き声の苦情で隣近所から簡単に裁判沙汰にされたり、賃貸住宅では飼うことが禁止されているのが当たり前。中でも猫を飼う者は、近隣の住人たちから犯罪者扱いされることすらあるという。

そんな飼い主たちの涙ながらの訴えを聞きつけてか、ハイテク時代の申し子として登場したペットが、電子ネコ。

電子手帳にインプリントされたこのネコ、名前をつける  
と成長をはじめ、約3カ月で大人  
になるという仕組みになっている。  
もちろん、性格はネコそのもので、  
主人のいうことなど聞く耳もたず、  
勝手に寝たり遊んだりする。しかし  
オシッコのときはトイレを用意  
しなければお漏らしするし、相手  
をしてやらないと家出までするこ  
う。

つまり、本物を飼っているのと同じ  
感覚を電子手帳で得られるのだ。  
これなら隣近所を気にしなくても  
よく、大家に後ろめたい思い  
もしなくて済む。

肝心のネコ愛好家にはどうにも  
不評。  
いくらハイテクが進んでも、ペ  
ットは生きていくほつがほしい!

## 【誤訳】

世界中の言語を覚えなきや?  
ローマ法王の著作に大誤訳

大江健三郎がノーベル賞受賞式で自ら英語でスピーチしたのは、自分の述べたいことを誤訳されることを恐れたからという噂。確かに自分の言いたい事がいい加減な内容で伝わることは、当人にとって心外なことだ。しかし、今世紀最大のベストセラーに大変な誤訳があったことがこのほどわかった。そのベストセラーとは、ローマ法王ヨハネ・パウロ二世が書いた『希望の彼方へ』。その内容は法王が神との出会い、妊娠中絶など35項目についての見解を述べたもので、20ヶ国語以上に翻訳されているものだ。

問題の本は、そのドイツ語バージョン。「世界を有神論的に判断する」というところを「世界を無神論的に判断する」と全く逆に翻訳しているのははじめ、とんでもなく誤訳だらけの内容だったのだ。原因は、法王の書いたポーランド語の原稿をイタリア語に翻訳し、それをドイツ語に訳したことによるものか。この本の誤訳はバチカン当局も見落としていて、既にドイツ国内で20万部以上も売れてしまったらしい。ああ、誤訳本に今こそ神の加護を。

## 【政治】

「頼むから黙っててくれ」  
米政府の目玉あえなく解任

いま日本の政権はトンちゃんや一時落ち着いているが、アメリカの政権は相変わらず大統領周辺のスキャンダルで四苦八苦しているという。

クリントン政権の売りとして黒人女性で最高のポストに就き、まさに「アメリカンドリーム」を再び思い出させてくれた公衆衛生行政長官、ジョイスリン・エルダー女史が、このほどポストを解任されたのだ。彼女は以前から「麻薬を合法化すれば、犯罪率は低下する」とか「中絶手術は公認すべき」、あるいは「公立学校で生徒にコンドームを配布せよ」と、対立者からの政権攻撃に格好の問題発言を提供した人物。もともとクリントン政権発足当時から大統領の頭痛のタネだった。

それでも大統領はアーカンソー州知事時代から彼女が医療部長を勤めてくれた縁で彼女をかばい続けたのだが、今度は「オナニーを学校で正しく教えるべき」というフツ飛び発言。遂に解任を余儀なくされたという次第だ。国民へのウケ狙いの目玉閣僚が暴言放言で解任されるのは確かに凄い事件だが、日本では日常茶飯事。



閣僚ならまだしも、このヒトの場合、ご本人の発言にどうにも節操が……。

新しいものの